

広報とりで TORIDE

6 . 1
2023 (令和5年)
NO.1366

取手美術作家展 とりび

入場
無料

日時 6月10日(土)～21日(水) 10:00～18:00※21日は17時まで
会場 とりでアートギャラリー (アトレ取手4階)

郷土作家と連携した事業として、市を拠点に制作活動をする作家が力作を出展する、取手美術作家展を開催します。38人の作家による、日本画・洋画・彫刻・書・工芸・デザイン・写真といったさまざまなジャンルの51作品を展覧します。

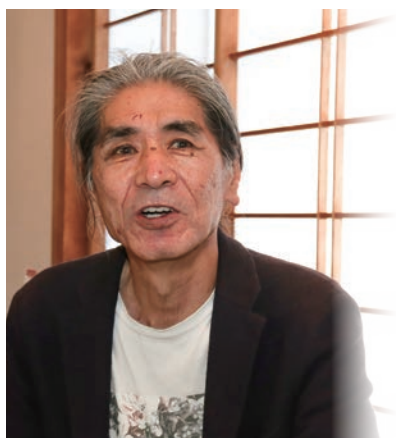


- ◆展覧期間中のイベント※事前の申し込みは不要
- ▶オープニングセレモニー…6月10日(土) 14:30～15:30
 - ・出展作家紹介
 - ・ギャラリーコンサート
- ▶ギャラリーツアー…6月17日(土) 14:00～15:00
出展作家3人が来場者と一緒に作品を鑑賞しながら、作品の解説をします。

☎ 文化芸術課 ☎ 内線1292

Interview 作家インタビュー

出展する作家2人にインタビューをしました。
掲載している作品画像はとりびに出展予定の作品です。



「もみ殻焼き」
※作品画像は制作途中のものです。



「Suzume」



洋画：中山哲雄さん

昭和43年に二科展※入選、茨城県展で市長会長賞を受賞。令和元年からは、市内で個展などを開催しています。※(公社)二科会が100回以上も開催している、長い歴史を持つ美術展です。

- ◆絵を描く際にこだわっていることは何ですか
自然が植物同士だけでなく、地球全体でつながっていることに気がつき、それを意識して風景画を描くようにしています。
- ◆今後、描いていきたいものなどありますか
造形の美しい取手の自然と、それを取り巻く目には見えない形の無い空気や風、水蒸気などの生態系を感じさせるもの、それに加えて時間や空間、人間の感情までを感じさせる景色を描きたいと思っています。
- ◆「とりび」に出展する思いをお聞かせください
アートのまちにふさわしい魅力ある作品を出展したいです。また、クラブなどで作品を制作し勉強している人が大勢いますが、描いたり作ったりする楽しさを感じてもらい、心を豊かにできる展覧会にしたいです。

デザイン：木村晴美さん

平成22年にN.Y.TDC57※を受賞。令和2年には、絵本「きれいなかおのつくりかた」を出版しています。※アメリカ・ニューヨークに拠点を持つThe Type Directors Clubから選出された優秀な作品に送られる賞です。

- ◆制作する際にこだわっているところはどこですか
形や色などその時に自分が思っていることを伸びやかに表現するところです。
- ◆制作していて難しいと感じるのはどんなところですか
作品を制作していると、最初に思っていたバランスと違うと感じることがあります。描きながらそのバランスを変化させていくところが難しいのですが、面白さを感じることもあります。
- ◆どのように作品を見てもらいたいですか
その人それぞれに作品の物語などを想像してもらえると嬉しいです。
- ◆「とりび」に出展する思いをお聞かせください
多くの方に見てもらえる機会が増えてうれしいです。子どもたちにもたくさん見に来てもらい、芸術を身近に感じて欲しいと思っています。

◆昨年のとりびの様子



展示作品を鑑賞している方



ギャラリーコンサート



ギャラリーツアーに参加している小学生



展示作品